



# 学びの虹

東京都立鹿本学園 学校通信 令和8年5月22日号

東京都立鹿本学園

校長 堀江 浩子

東京都江戸川区本一色2-24-11

電話 03-3653-7355

## 聞くと聴く—家庭と学校は子供たちを支える大切なパートナーです—

聞くと聴くは同じ「きく」ですが、意識が違います。「聞く」は話を聞く、音が聞こえるように、自然に受動的に耳に入ってくることです。「聴く」は音楽を聴く、講演を聴くというように、注意深く能動的に耳を傾けることです。漢字がまさしくそうです。「耳+目と心」で成り立っています。

学校は、個人面談や日々の連絡帳や電話のやり取りでも「聴く」姿勢が、大切と考えます。校長として、教職員に伝えていることがあります。

*「保護者の小さな不安や不満のサインを見逃すことを繰り返すと保護者は不信になり、それでも気づかないと不穏な状況となる」*

不安や不満の内容は様々です。もしかしたら、不安や不満の内容を全て保護者の考え通りに解消・改善が難しい時があるかもしれませんが、まずは「話を聴く」ところからだと考えます。

一方、家庭と学校は子供たちの成長をはぐくむ、支えるパートナーではなくなってきているニュースが散見します。立川市の小学校の教員への暴力をはじめ、つい最近では、山口県の市立小学校教諭が「事実無根のメールを市教育委員会に送られ、名誉を毀損された」として、勤務する児童の保護者を訴え裁判所より一部訴えが認められたという報道もありました。

直接的な罵倒や暴力や当該者の知らないところでの憶測にもとづくメール等、社会的な常識の範囲（社会通念上逸脱した行為）を超えた言動や要求により、教職員の働き方や心の健康について、社会全体で見直しが進んでいます。文部科学省でも、教員の心身の健康を守ることが、子供たちの学びの質を支える上でとても大切であると示されています。

東京都教育委員会は今年2月に学校と家庭・地域がよりよい関係を築きながら子供たちを支えていくための考え方をまとめたガイドライン（「学校と家庭・地域とのより良好な関係づくりに係るガイドライン」）を策定しました。詳しくは下のQRコードより御参照ください。

「学校と家庭・地域とのより良好な関係づくりに係るガイドライン」



今後、もしガイドラインを準じて対応しなければならなくなった場合は、本校の学校運営連絡協議会の委員である弁護士に依頼し客観的な立場で入っていただきます。「対立」「敵対」ではなく、信頼関係を再度築くためです。

鹿本学園は、保護者の皆様の思いに耳を傾けること・子供達にとって最善の方法を一緒に考えることを大切にしてまいります。そしてお互いを尊重しあえる学校でありたいです。

御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

鹿本学園校長 堀江 浩子

## ～副校長より～

### 「地域とともに、穏やかな一年を」

副校長 中澤 絵麻（肢体不自由教育部門 小学部担当）

新年度を迎え、三年目となりました。毎朝学校へ向かう中で、身近な街の様子に目を向ける機会も増えて、この学校が江戸川区の皆様にあたたかく支えられていることを、日々感じています。

学校生活では、一人一人の経験を大切にしながら、デジタルとアナログを組み合わせた学びを工夫してまいります。安心して一日一日を積み重ねられる環境づくりを、何より大切に考えております。小さな「できた」「やってみたい」という気持ちを大切に、成長の過程を教職員皆で温かく見守っていきたいと思います。

副校長として、保健給食やスクールバスを含め、毎日の学校生活が穏やかで安心できるものとなるよう支えるとともに、教職員が力を発揮できる環境づくりに努めてまいります。

気になることがございましたら、どうぞお気軽にお声掛けください。本年度もよろしくお願いいたします。

### 「子供たちの育ちのために」

副校長 冨樫 忠（肢体不自由教育部門 中学部・高等部担当）

この4月から鹿本学園の副校長として着任いたしました。本校の肢体不自由教育部門の副校長として、子供たちの学びと成長に関わることができることを、大変うれしく思っています。また、その反面、責任の重さに身の引き締まる思いで日々過ごしています。

教育を取り巻く環境や社会は大きく変化してきていますが、子供たち一人一人の可能性を信じ、その育ちを支えていくことの大切さは、今も変わらないと考えています。鹿本学園の子供たちが、安心して学校生活を送り、自分らしさを大切にしながら、様々な経験や学びを通して力を伸ばしていけるよう、教職員と力を合わせて取り組んでまいります。

子供たちの力を効果的に育むためにも、保護者や地域の皆様とのつながりを今後も大切にしながら、教育活動に努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 「一人一人の成長を大切に」

副校長 小宮山 都美（知的障害教育部門 小・中学部担当）

今年度、知的障害教育部門を担当いたします副校長の小宮山でございます。本校2年目になりました。

本校では、子供たち一人一人の特性に応じたきめ細やかな指導をとおして、「できた」「わかった」という積み重ねを大切にしながら、豊かな人間性や社会性を育み、主体的に生活する力の育成を目指してまいります。日々の学習や学校生活の中で、安心して自分らしさを発揮し、友達や教職員との関わりを深めながら成長していけるよう、教職員一同で指導してまいります。

また、保護者の皆様との連携を何より大切に、お子様の成長をともに支えていけるよう努めてまいります。御家庭でのお気付きの点や御心配なことがございましたら、遠慮なくお知らせください。

今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

～経営企画室職員紹介～

＜事務＞…学校運営にかかわる事務、教材・教具の購入、就学奨励費関係、他

<u>経営企画室長</u>	野田 徹
<u>課長代理</u>	畑中 瞭
<u>主事</u>	山中 正
<u>主事</u>	青木 彩杜美
<u>主事</u>	中村 悠乃
<u>バスクラーク</u>	渡邊 隆司
<u>アシスタント</u>	和田橋 明
<u>アシスタント</u>	井邊 恵津子

＜栄養士＞…おいしく安全な給食の提供

<u>統括課長代理</u>	加納 浩
<u>主任</u>	室井 夏菜
<u>主事</u>	保坂 ひなの

＜一般技能＞…校舎内外の清掃・美化、他

<u>技能長</u>	石井 信雄
<u>技能主任</u>	中島 洋二
<u>技能主任</u>	益子 裕子
<u>技能主任</u>	関 由美子

それぞれの分野で  
精一杯業務を推進  
して参りますので  
どうぞよろしく  
お願いします。

